

FY 2024 2Q



決算説明会資料

～2024年3月期 第2四半期～

日本ハム株式会社 2023年10月31日



CONTENTS

01

2024年3月期 実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期上期 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 11 セグメント情報 食肉事業本部
- 13 セグメント情報 海外事業本部
- 14 セグメント情報 ボールパーク・その他事業
- 15 上期 主なマーケティング活動

02

2024年3月期 計画

- 17 計画ハイライト
- 21 2024年3月期計画 加工事業本部
- 23 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 25 2024年3月期計画 海外事業本部

03

2024年3月期 主な財務データ／参考資料

- 27 2023年3月期連結業績概要及び
2024年3月期計画
- 28 2023年3月期品種別売上高実績及び
2024年3月期計画
- 29 連結貸借対照表
- 30 連結キャッシュ・フロー計算書及び
設備投資額、減価償却費等
- 32 外部環境／市況

※ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。

※ 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

※ 四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

※ 前第4四半期連結会計期間より、Breeders & Packers Uruguay S.A.（以下、「BPU」）に関連する牛肉事業を非継続事業に分類しております。

CONTENTS

01

2024年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期上期 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 11 セグメント情報 食肉事業本部
- 13 セグメント情報 海外事業本部
- 14 セグメント情報 ボールパーク・その他事業
- 15 上期 主なマーケティング活動

02

2024年3月期

計画

- 17 計画ハイライト
- 21 2024年3月期計画 加工事業本部
- 23 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 25 2024年3月期計画 海外事業本部

03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 27 2023年3月期連結業績概要及び
2024年3月期計画
- 28 2023年3月期品種別売上高実績及び
2024年3月期計画
- 29 連結貸借対照表
- 30 連結キャッシュ・フロー計算書及び
設備投資額、減価償却費等
- 32 外部環境／市況

2024年3月期上期 事業利益

(単位：億円)



2024年3月期 上期実績

売上高

6,521 億円

(前年比 +5.4%)

事業利益

250 億円

(前年比 +64.2%)

- 売上高は、食肉事業と加工事業で価格改定が浸透、ボールパーク事業は観客動員数が増加し増収
- 事業利益は、主に新たなビジネスモデルが構築されたボールパーク事業や、食肉事業の国産鶏肉とフード販売で増益

2024年3月期 通期計画

売上高

13,000 億円

(前年比 +3.2%)

事業利益

440 億円

(前年比 +71.9%)

- 売上高は、価格改定の効果による上期の結果を踏まえ上方修正
- 主に輸入食肉相場の高値推移を見込み、上方修正
- 事業利益は、上期+50億円の上振れと、下期も堅調に推移することを見込み、通期+60億円に上方修正

06 実績ハイライト① 2024年3月期上期実績

(単位：億円)

	24年3月期1Q	24年3月期2Q	24年3月期上期	前年差	増減率
売上高	3,222	3,299	6,521	334	5.4%
事業利益	121	128	250	98	64.2%
内) 継続事業	128	131	259	93	56.1%
事業利益率	4.0%	4.0%	4.0%	1.3%	—
税引前四半期利益	188	128	316	80	33.9%
親会社に帰属する四半期利益	117	82	200	45	29.1%

07 実績ハイライト② セグメント別売上高、事業利益実績

売上高

(単位：億円)

	2024年 3月期1Q	2024年 3月期2Q	2024年 3月期上期	前年差	増減率
加工事業本部	1,035	1,074	2,109	69	3.4%
食肉事業本部	1,939	1,921	3,861	244	6.8%
海外事業本部	752	750	1,502	△ 191	△11.3%
ボールパーク・ その他事業	87	98	185	80	75.6%
消去調整他	△ 531	△ 499	△ 1,030	86	—
非継続事業	△ 62	△ 45	△ 106	47	—
連結計	3,222	3,299	6,521	334	5.4%

事業利益

(単位：億円)

	2024年 3月期1Q	2024年 3月期2Q	2024年 3月期上期	前年差	増減率
加工事業本部	8	21	29	16	117.8%
食肉事業本部	102	68	170	28	19.8%
海外事業本部	△3	5	2	11	—
ボールパーク・ その他事業	25	38	63	43	225.6%
消去調整他	△11	△ 4	△ 15	△1	—
連結計	121	128	250	98	64.2%

(単位：億円)

	24年3月期 1Q	24年3月期 2Q	24年3月期 上期	前年差	増減率
売上高	1,035	1,074	2,109	69	3.4%
事業利益	8	21	29	16	117.8%
事業利益率	0.8%	2.0%	1.4%	0.7%	—

売上高 増収

- ・ シャウエッセンは回復基調、豊潤の販売は引き続き好調
- ・ ハム・ソーセージ(コンシューマ商品)・デリ商品(業務用商品)の価格改定が浸透
- ・ 乳製品・エキス・一次加工品も価格改定が浸透

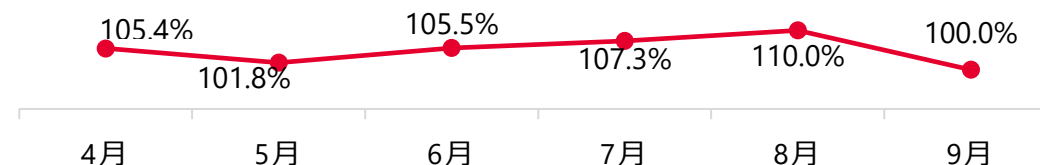
事業利益 増益

- ・ 原材料価格高騰に対して、価格改定が進み収益改善
- ・ 主力ブランドのシャウエッセンの回復やチルドピザの販売が拡大し、粗利益が増加

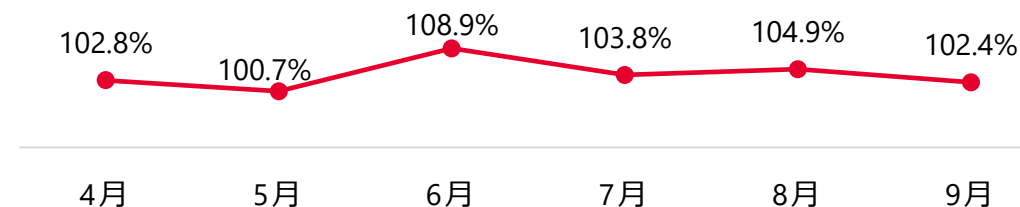
コンシューマ商品別/チャンネル別 上期売上実績 (前年比)

ハム・ソーセージ	数量	金額	デリ商品	数量	金額
シャウエッセン群	-	105.0%	チルドベーカリー群	-	103.9%
その他ウインナー群	-	109.3%	中華名菜群	-	83.3%
ウインナー群	-	106.1%	ハンバーグ・ミートボール群	-	104.9%
ハム・ベーコン群	-	100.9%	フライドチキン群	-	84.8%
コンシューマ計	100.6%	105.4%	コンシューマ計	87.7%	95.0%
業務用	88.5%	97.8%	業務用	104.6%	117.4%
総計	97.9%	103.8%	総計	94.1%	103.0%

シャウエッセン売上高 前年比推移



チルドピザ売上高 前年比推移



上期事業利益 前年差要因分析

(単位：億円)

(単位：億円)

	1Q増減	2Q増減	上期増減 ①	主な前年差要因	1Q時上期見込 ②	差異 ①-②
ハム・ソーセージとデリ商品事業	△9	18	9		4	5
外部要因	△38	△16	△54		△59	4
主原料価格	△20	△12	△32	主に豚肉原料価格が高騰	△34	2
副資材	△15	△8	△23	卵白末・羊腸・包材の高騰	△25	2
電燃料	△3	3	1	自助努力による使用量の削減	△1	1
内部要因	29	34	63		63	0
価格改定効果	33	28	61	デリ商品の回復遅れで数量効果に影響が残るが、単価効果が発現し改善	71	△10
改善活動	△4	6	2	主力ブランドのシャウエッセン・チルドピザの販売回復により商品ミックスが改善	△8	10
乳製品・水産・エキス・一次加工	6	4	10	乳製品・水産で価格改定効果が発現	6	4
DX費用	△1	△2	△3		△6	3
合計	△4	20	16		4	12

10 セグメント情報 加工事業本部③ 価格改定まとめ

FY2022.3

FY2023.3

FY2024.3

改定率 5-12%

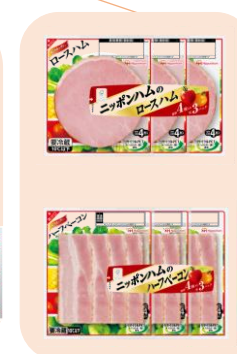
改定率 2-34%

改定率 2-26%

改定率 7-20%

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
●				40品目			78品目		184品目	18品目		
●				133品目			125品目		99品目			
●				232品目			168品目		107品目			
●				19品目			17品目		35品目			

- ロニシューマ
- ハム・ソーセージ
- 加工食品
- 業務用
- 冷凍食品



11 セグメント情報 食肉事業本部①

(単位：億円)

	24年3月期 1Q	24年3月期 2Q	24年3月期 上期	前年差	増減率
売上高	1,939	1,921	3,861	244	6.8%
事業利益	102	68	170	28	19.8%
事業利益率	5.3%	3.5%	4.4%	0.5%	—

売上高 増収

- 畜産品の高値が続く中、価格優位性のある国産鶏肉に需要がシフトし販売が伸長
- 相場高の環境下でも量販チャネルの販売が伸長

事業利益 増益

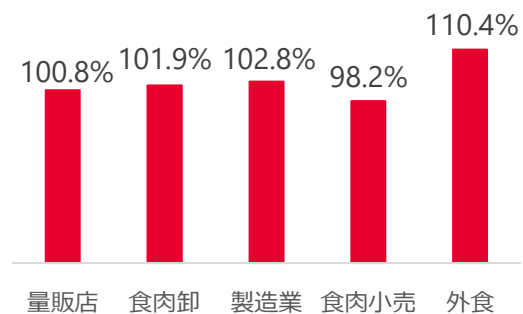
- 国産鶏肉相場が上期を通じて前年を上回り、生産部門で利益を確保
- 輸入牛肉の販売が回復し利益を確保

フード4社 上期畜種別売上数量・金額実績（前年比）

国産	数量	金額	輸入	数量	金額
牛肉	100.4%	100.5%	牛肉	108.8%	107.7%
豚肉	99.9%	106.8%	豚肉	103.5%	108.5%
鶏肉	99.1%	112.5%	鶏肉	103.8%	99.4%
国産合計	99.6%	107.1%	輸入合計	104.7%	106.2%

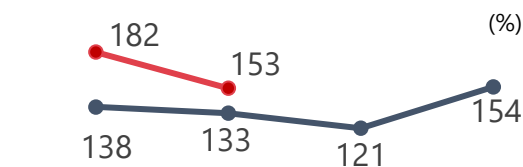
フード4社 上期チャネル別 売上数量実績

全体の数量伸長 **101.7%**
(金額：106.7%)



フード4社利益（2022年3月期比）

直近の2年間で
フード利益は大幅伸長



2022年3月期を基準に比較

1Q 2Q 3Q 4Q

● 2024年3月期 ● 2023年3月期

12 セグメント情報 食肉事業本部②

上期事業利益 前年差要因分析

(単位：億円)

	1Q増減	2Q増減	上期増減①	主な前年差要因	1Q時上期見込②	差異①-②
国産牛・豚事業	△4	△3	△7	生産：豚肉相場は上期を通して高値維持 荷受：豚肉相場の高騰に対して価格転嫁に遅れ	△9	2
国産鶏事業	19	△2	18	生産：鶏肉相場は1Qに高値で推移 荷受：社外調達の強化により販売数量が増加	21	△4
輸入食肉事業	4	2	6	輸入冷蔵牛肉・豚肉の調達見直し	△11	17
フード販売	12	6	18	量販：都市部での販売が好調 外食：数量・金額ともに伸長し、特に牛肉群の販売が好調	14	4
DX費用	1	0	1		△3	3
その他	0	△7	△7		△10	3
合計	32	△4	28		3	25

13 セグメント情報 海外事業本部

(単位：億円)

	24年3月期 1Q	24年3月期 2Q	24年3月期 上期	前年差	増減率
売上高	752	750	1,502	△191	△11.3%
事業利益	△3	5	2	11	—
事業利益率	—	0.6%	0.1%	—	—

売上高 減収

- 北米の加工品販売が好調も、ウルグアイの牛肉事業会社の株式譲渡、水産事業譲渡により減収

事業利益 収益確保

- 北米の鶏肉加工品販売とトルコの鶏肉事業が好調に推移し増益

(単位：億円)

	事業利益前年差要因分析			主な前年差要因	1Q時 上期見込②	差異 ①-②
	1Q増減	2Q増減	上期増減 ①			
豪州	△11	8	△3		△7	4
オーストラリア	△8	4	△5	牛肉の販売価格が下落	△7	2
ウルグアイ	△3	5	2	8月末に事業譲渡完了	△1	2
米州	6	1	6	鶏肉加工品は安定した原料環境の下、販促により数量が伸長	6	0
アジア・欧州	0	8	8	トルコの鶏肉事業が飼料価格上昇に対して価格転嫁が浸透	4	4
その他	△1	1	0		△1	1
合計	△6	17	11		2	9

地域別事業利益		地域別売上高		外部顧客売上高	
上期	前年差	上期	前年差	上期	前年差
△8	△3	632	△72	586	△32
4	△5	522	△9	480	15
△12	2	110	△63	106	△47
11	6	606	△24	174	0
5	8	269	△110	160	△15
△5	0	—	—	—	—
2	11	1,502	△191	920	△48

(単位：億円)

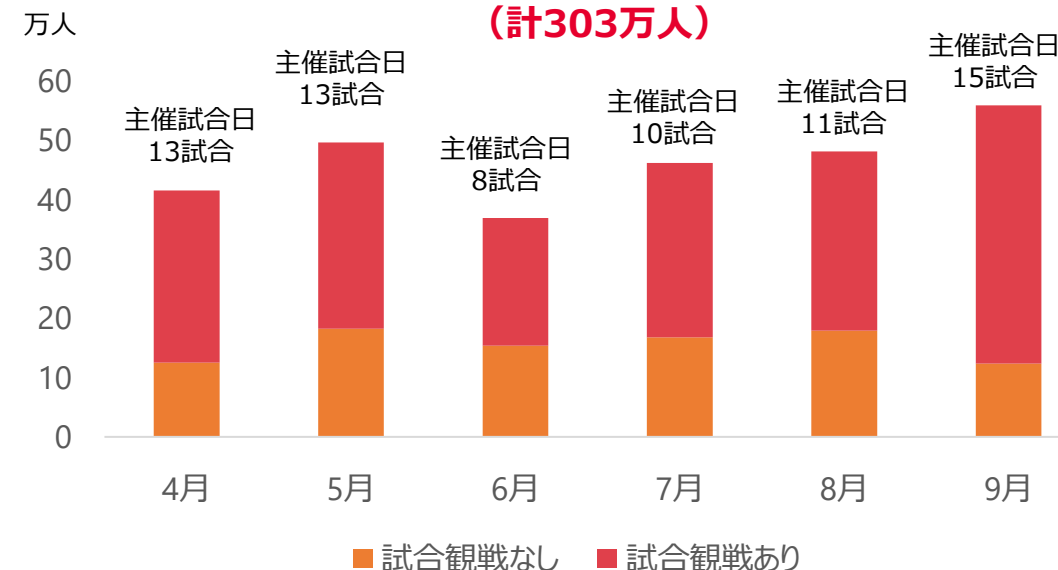
	24年3月期1Q	24年3月期2Q	24年3月期上期	前年差	増減率
売上高	87	98	185	80	75.6%
事業利益	25	38	63	43	225.6%
事業利益率	28.2%	39.1%	33.9%	15.6%	—

※上記数字は、ボールパーク事業及び新規事業の合計

売上高/事業利益

- 観客動員数の増加や、非試合日も含め様々なシーズンイベントを実施したことで売上が拡大
- 広告、試合、グッズ収入等が前年を大きく上回ったことや、飲食収入の増加で収益性が向上

北海道ボールパークFビレッジ来場者数
(計303万人)



加工事業本部

■ シャウエッセン 他社コラボWEB CM (7月)

若年層の開拓、喫食機会の拡大
WEB CM 760万回再生



■ シャウエッセン 8月10日「パリッ! との日」(8月)

全国新聞広告、エスコンフィールドにてイベント展開
平日にも関わらず3万人近くの来場者



■ シャウエッセンホットドッグ キッチンカー (9-12月)

エスコンフィールドで好評のシャウドッグを全国9拠点で展開
10月の販促に繋げて顧客獲得を図る



ボールパーク事業

■ <試合日> 様々なイベント実施により客層が変化

Fレヅジ来場者の約28%が道外からの来場 (従来は約10%)
20-40代の来場者比率が上昇、特に20代が上昇



ジンギスカンダンス



ファイターズ超花火大会



パリッ!!とナイト

■ シーズナルイベントを開催 (4-6月、7-8月)

試合日、非試合日問わず、通年での集客を目的とする
シーズナルイベントの年間集客目標は約60万人



CONTENTS

01

2024年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期上期 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 11 セグメント情報 食肉事業本部
- 13 セグメント情報 海外事業本部
- 14 セグメント情報 ボールパーク・その他事業
- 15 上期 主なマーケティング活動

02

2024年3月期

計画

- 17 計画ハイライト
- 21 2024年3月期計画 加工事業本部
- 23 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 25 2024年3月期計画 海外事業本部

03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 27 2023年3月期連結業績概要及び
2024年3月期計画
- 28 2023年3月期品種別売上高実績及び
2024年3月期計画
- 29 連結貸借対照表
- 30 連結キャッシュ・フロー計算書及び
設備投資額、減価償却費等
- 32 外部環境／市況

売上高

価格改定の効果による上期の結果を踏まえ上方修正

事業利益

各セグメントの利益計画は堅調な推移を見込み、通期+60億円の上方修正

(単位：億円)

	23年3月期通期	1Q時見込	2Q時見込	前年差	増減率
売上高	12,598	12,600	13,000	402	3.2%
事業利益	256	380	440	184	71.9%
内) 継続事業	282	395	450	168	59.6%
事業利益率	2.2%	3.1%	3.5%	1.2%	—
税引前当期利益	222	340	420	198	89.5%
親会社に帰属する当期利益	166	230	280	114	68.3%
ROE	3.4%	4.6%	5.6%	2.2%	—
ROIC	2.4%	3.5%	4.0%	1.6%	—

※ 売上高事業利益率は、非継続事業調整後の事業利益を用いて算出しております。

セグメント別事業利益計画

(単位：億円)

	2024年3月期											
	上期				下期				通期			
	23年3月期 実績	1Q時見込	実績	見込差	23年3月期 実績	1Q時見込	2Q時見込	見込差	23年3月期 実績	1Q時見込	2Q時見込	見込差
加工事業本部	13	17	29	12	37	47	41	△7	50	65	70	5
食肉事業本部	142	145	170	25	149	175	180	5	291	320	350	30
海外事業本部	△9	△7	2	9	△41	24	33	9	△50	17	35	18
ボールパーク・その他	19	66	63	△3	△24	△51	△48	3	△5	15	15	0
消去・調整他	△13	△21	△15	7	△16	△16	△15	0	△30	△37	△30	7
合計	152	200	250	50	104	180	190	11	256	380	440	60

19 計画ハイライト③ 通期事業利益計画 前年差の主な要因分析

2024年3月期通期見込み

(単位：億円)



CONTENTS

01

2024年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期上期 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 11 セグメント情報 食肉事業本部
- 13 セグメント情報 海外事業本部
- 14 セグメント情報 ボールパーク・その他事業
- 15 上期 主なマーケティング活動

02

2024年3月期

計画

- 17 計画ハイライト
- 21 2024年3月期計画 加工事業本部
- 23 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 25 2024年3月期計画 海外事業本部

03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 27 2023年3月期連結業績概要及び
2024年3月期計画
- 28 2023年3月期品種別売上高実績及び
2024年3月期計画
- 29 連結貸借対照表
- 30 連結キャッシュ・フロー計算書及び
設備投資額、減価償却費等
- 32 外部環境／市況

(単位：億円)

	23年3月期 通期実績	1Q時見込	2Q時見込	前年差	増減率
売上高	4,177	4,200	4,300	123	2.9%
事業利益	50	65	70	20	40.0%
事業利益率	1.2%	1.5%	1.6%	0.4%	-

売上高 増収

- 収益性の高い商品に注力し、回復基調にある主力ブランドの販売施策を着実に実行
- モーニングサブを中心に事業の柱となる新カテゴリー創出を図る

事業利益 増益

- 収益性の高いシャウエッセンの回復、低収益商品の見直しや商品統廃合により商品ミックスを改善
- 高生産ラインへの集中を続け、収益性を改善

コンシューマ商品別/チャンネル別 通期売上計画（前年比）

ハム・ソーセージ	金額	デリ商品	金額
シャウエッセン群	109.9%	チルドベーカリー群	106.5%
その他ウイナー群	106.6%	中華名菜群	86.6%
ウイナー群	109.1%	ハンバーグ・ミートボール群	105.6%
ハム・ベーコン群	98.5%	フライドチキン群	87.3%
コンシューマ計	102.6%	コンシューマ計	95.9%
業務用	97.8%	業務用	109.4%
総計	101.5%	総計	101.2%

利益の最大化に向けた商品ポートフォリオの再構築 顧客視点に立ったブランド戦略や商品開発を推進

- ロースハム他 価格の適正化と最適生産体制の構築による収益性の改善
- シャウエッセン 大袋の拡大施策を実行し、シャウエッセン群を回復
来年の発売40年に向けたブランディングの強化
- チルドピザ 石窯工房・ミニピザの拡販
来期を見据えた新商品のテストマーケティングを実施
- 中華名菜 既存商品のリニューアルを実施し売上を回復
新規顧客に向けて新たな販売方法に挑戦
- モーニングサブ 販促活動を強化し数量拡大

通期事業利益 計画差増減要因分析

(単位：億円)

	下期			通期			主な計画差要因
	1Q時見込	2Q時見込	差異	1Q時見込	2Q時見込	差異	
ハム・ソーセージとデリ商品事業	20	9	△12	25	18	△7	
外部要因	△23	△31	△8	△82	△85	△4	
主原料価格	△9	△17	△8	△43	△49	△6	円安影響で豚肉価格が上昇
副資材	△13	△13	0	△37	△35	2	油等が改善の見込み
電燃料	△1	△1	0	△2	△1	1	
内部要因	43	40	△4	106	103	△3	
価格改定効果	24	20	△4	95	81	△14	数量効果：中華名菜の回復に遅れ
改善活動	19	20	1	11	22	11	収益性の高いシャウエッセンの回復により商品ミックスが改善
乳製品・水産・エキス・一次加工	1	1	0	6	11	4	乳製品を中心に業務用商品の価格改定が浸透
DX費用	△10	△5	5	△16	△9	8	
合計	11	4	△7	15	20	5	

(単位：億円)

	23年3月期 通期実績	1Q時見込	2Q時見込	前年差	増減率
売上高	7,501	7,200	7,650	149	2.0%
事業利益	291	320	350	59	20.0%
事業利益率	3.9%	4.4%	4.6%	0.7%	-

売上高 増収

- ・ 節約志向により牛肉・豚肉の販売環境は厳しいが、販売価格の上昇で売上高を増加
- ・ 輸入牛肉販売の回復で、販売数量が伸長

事業利益 増益

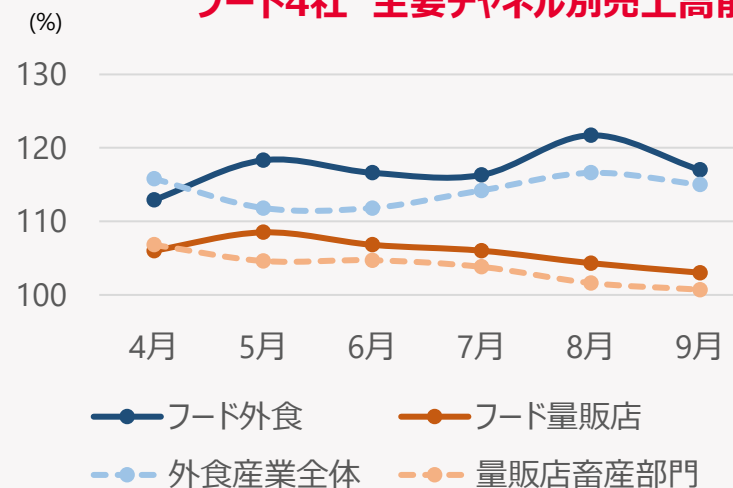
- ・ フード販売は量販店向けの収益性が改善
外食の回復もあり利益伸長
- ・ 需給バランスを的確に把握し、適正在庫を維持

フード販売 売上計画

営業スタイル・エリア戦略等の基盤整備、 チャネル・商品施策で利益を拡大

- ・ フード会社の全国営業網を活用し、加工事業本部の商品を販売
- ・ AI相場予測を導入し、ボラティリティ低減に向けてテスト運用
- ・ 生産から販売まで自社グループで手掛ける豪州産牛肉ブランド「大麦牛」を積極的に展開

フード4社 主要チャネル別売上高前年比



外食・量販店ともに
マーケットを上回る
水準を目指す

出典：流通三団体スーパーマーケット販売統計調査
一般社団法人日本フードサービス協会

通期事業利益 計画差増減要因分析

(単位：億円)

	下期			通期			主な計画差要因
	1Q時見込	2Q時見込	差異	1Q時見込	2Q時見込	差異	
国産牛・豚事業	0	△2	△2	△9	△9	0	処理：調達強化による頭数増加や生産性を改善 荷受：下期に豚肉相場は落ち着くが、上期の高騰が影響
国産鶏事業	△10	△27	△17	12	△9	△21	生産：下期は想定相場を下回る見込み 荷受：社外調達強化、販売数量増加で収益を確保
輸入食肉事業	40	58	18	29	64	35	輸入牛肉を中心に各畜種の販売が拡大 輸入鶏肉は需給バランスを見極めた管理を徹底
フード販売	4	4	0	18	22	4	量販：適正利益の確保、収益性の高い商品の販売強化 外食：輸入品の販売強化
DX費用	△6	△1	4	△8	△1	8	
その他	△2	0	2	△12	△7	5	
合計	26	31	5	29	59	30	

(単位：億円)

地域別売上計画

	23年3月期 通期実績	1Q時見込	2Q時見込	前年差	増減率
売上高	3,214	2,950	2,750	△464	△14.4%
事業利益	△50	17	35	85	—
事業利益率	—	0.6%	1.3%	—	—

【豪州】

- 北米向けに「プレミアムグラスフェッド」の売上を拡大

【米州】

- 加工食品アイテムの拡大、工場の製造能力増強

【アジア・欧州】

- 日本向け鶏肉加工品の商品開発を強化

通期事業利益 計画差増減要因分析

(単位：億円)

	下期			通期			主な計画差要因	地域別事業利益
	1Q時見込	2Q時見込	差異	1Q時見込	2Q時見込	差異		24年3月期通期
豪州	52	61	9	45	58	13		13
オーストラリア	40	48	9	33	44	11	牛肉生体価格が前年を大幅に下回る見込み 販売価格は下期にかけて回復見込み	25
ウルグアイ	12	12	0	12	14	2		△12
米州	3	3	0	9	9	0	生産性を向上させ、計画通りの販売展開を図る	26
アジア・欧州	11	11	0	15	19	4	トルコの鶏肉事業は、好調な販売環境が継続	7
その他	0	0	0	△1	0	1		△11
合計	65	74	9	67	85	18		35

CONTENTS

01

2024年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期上期 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 11 セグメント情報 食肉事業本部
- 13 セグメント情報 海外事業本部
- 14 セグメント情報 ボールパーク・その他事業
- 15 上期 主なマーケティング活動

02

2024年3月期

計画

- 17 計画ハイライト
- 21 2024年3月期計画 加工事業本部
- 23 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 25 2024年3月期計画 海外事業本部

03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 27 2023年3月期連結業績概要及び
2024年3月期計画
- 28 2023年3月期品種別売上高実績及び
2024年3月期計画
- 29 連結貸借対照表
- 30 連結キャッシュ・フロー計算書及び
設備投資額、減価償却費等
- 32 外部環境／市況

27 2023年3月期連結業績概要及び2024年3月期計画

(単位：百万円)

	2023年3月期実績			2024年3月期					
	上期	下期	通期	上期実績	増減率	下期見込	増減率	通期見込	増減率
売上高	618,688	641,104	1,259,792	652,122	5.4%	647,878	1.1%	1,300,000	3.2%
売上原価	526,185	556,575	1,082,760	544,253	3.4%	543,747	△2.3%	1,088,000	0.5%
売上総利益	92,503	84,529	177,032	107,869	16.6%	104,131	23.2%	212,000	19.8%
売上総利益率	15.0%	13.2%	14.1%	16.5%	-	16.1%	-	16.3%	-
販売費及び一般管理費	80,642	85,438	166,080	83,974	4.1%	92,026	7.7%	176,000	6.0%
その他の収益・費用	9,035	△ 2,128	6,907	6,760	-	△ 2,260	-	4,500	-
金融収益・費用	58	1,472	1,530	584	-	△84	-	500	-
持分法による投資損益	2,646	127	2,773	366	△86.2%	634	399.2%	1,000	△63.9%
税引前四半期利益	23,600	△ 1,438	22,162	31,605	33.9%	10,395	-	42,000	89.5%
法人所得税費用	6,070	△ 1,300	4,770	9,826	61.9%	3,174	-	13,000	172.5%
税率	25.7%	90.4%	21.5%	31.1%	-	30.5%	-	31.0%	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	15,480	1,157	16,637	19,984	29.1%	8,016	592.8%	28,000	68.3%
事業利益	15,204	10,392	25,596	24,963	64.2%	19,037	83.2%	44,000	71.9%

持分法による投資損益：前年差▲23億円 北米牛肉処理会社の業績悪化により、持分法による投資損益が大幅に減少

28 2023年3月期品種別売上高実績及び2024年3月期計画

(単位：百万円)

	2023年3月期実績			2024年3月期計画								
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	増減率	数量 伸長率	下期計画	増減率	数量 伸長率	通期計画	増減率	数量 伸長率
ハム・ソーセージ	62,683	67,478	130,161	64,980	3.7%	△2.0%	68,020	0.8%	0.9%	133,000	2.2%	△0.6%
加工食品	116,383	118,783	235,166	118,384	1.7%	△7.4%	119,616	0.7%	△2.4%	238,000	1.2%	△4.9%
食肉	384,509	407,463	791,972	410,231	6.7%	△5.9%	412,769	1.3%	2.4%	823,000	3.9%	1.5%
牛肉	153,883	158,489	312,372	163,818	6.5%	9.9%	159,182	0.4%	0.7%	323,000	3.4%	5.2%
豚肉	121,533	129,468	251,001	129,708	6.7%	0.0%	129,292	△0.1%	△1.2%	259,000	3.2%	△0.6%
鶏肉	99,320	110,250	209,570	106,982	7.7%	△2.7%	115,018	4.3%	6.1%	222,000	5.9%	1.7%
その他食肉	9,773	9,256	19,029	9,723	△0.5%	△19.4%	9,277	0.2%	0.8%	19,000	△0.2%	△10.9%
乳製品	18,126	18,068	36,194	19,657	8.4%	△2.6%	18,343	1.5%	5.5%	38,000	5.0%	1.2%
その他(水産含む)	36,987	29,312	66,299	38,870	5.1%	-	29,130	△0.6%	-	68,000	2.6%	-
合計	618,688	641,104	1,259,792	652,122	5.4%	-	647,878	1.1%	-	1,300,000	3.2%	-

※品種別の売上高はセグメント合計での算出となるため、セグメント売上高とは合致いたしません
 ※非継続事業(BPU)を除く実績

29 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	22年期末	23年期末	24年上期	対前期末 増減率(%)	対前期末 増減額
現金及び現物同等物	85,374	64,986	77,276	18.9	12,290
営業債権及びその他の債権	136,017	146,660	159,718	8.9	13,058
棚卸資産	119,980	141,930	143,947	1.4	2,017
生物資産	32,755	27,984	27,103	△ 3.1	△ 881
その他	40,180	46,458	29,634	△ 36.2	△ 16,824
流動資産合計	414,306	428,018	437,678	2.3	9,660
有形固定資産	345,022	364,381	364,332	△ 0.0	△ 49
使用権資産	46,090	40,898	39,027	△ 4.6	△ 1,871
生物資産	1,240	1,517	1,507	△ 0.7	△ 10
その他	102,555	102,341	105,372	3.0	3,031
非流動資産合計	494,907	509,137	510,238	0.2	1,101
資産合計	909,213	937,155	947,916	1.1	10,761
有利子負債	90,056	102,199	100,860	△ 1.3	△ 1,339
営業債務及びその他の債務	103,719	106,027	117,506	10.8	11,479
その他	88,144	70,310	50,829	△ 27.7	△ 19,481
流動負債合計	281,919	278,536	269,195	△ 3.4	△ 9,341
有利子負債	121,351	139,856	137,888	△ 1.4	△ 1,968
その他	16,389	15,982	16,592	3.8	610
非流動負債合計	137,740	155,838	154,480	△ 0.9	△ 1,358
親会社の所有者に帰属する持分	479,069	492,913	512,048	3.9	19,135
非支配持分	10,485	9,868	12,193	23.6	2,325
資本合計	489,554	502,781	524,241	4.3	21,460
負債・資本合計	909,213	937,155	947,916	1.1	10,761

主な増減

【流動資産合計】

BPUの株式譲渡に伴い売却目的保有資産が前期末比98.6%減の1.8億円となったが、現金及び現金同等物が前期末比18.9%増の773億円、当第2四半期末日が金融機関の休業日であった影響等により営業債権及びその他の債権が前期末比8.9%増の1,597億円となったこと等から、前期末比2.3%増の4,377億円となった。

【非流動資産】

繰延税金資産が前期末比11.4%減の275億円となったが、無形資産及びのれんが前期末比16.3%増の235億円となったことで、前期末比0.2%増の5,102億円となった。

負債は、相場高と需要回復を受けた仕入の増加等により営業債務及びその他の債務が前期末比10.8%増の1,175億円となったが、BPUの株式譲渡により売却目的保有資産に直接関連する負債が114億円減少したこと等から、前期末比2.5%減の4,237億円となった。

30 連結キャッシュ・フロー計算書/設備投資額、減価償却費等

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	22年3月期 上期	23年3月期 上期	24年3月期 上期
税引前四半期利益	※ 28,073	23,600	31,605
減価償却費	18,029	18,846	19,684
受取債権の増減	△ 3,797	△ 11,153	△ 12,231
棚卸債権増減	△ 23,464	△ 37,644	△ 155
生物資産増減	△ 1,915	817	3,140
営業債務増減	11,508	11,839	10,548
その他	△ 19,117	△ 19,659	△ 6,279
営業CF	9,317	△ 13,354	46,312
固定資産取得・売却	△ 26,739	△ 35,795	△ 20,647
その他	△ 15	9,250	△ 299
投資活動CF	△ 26,754	△ 26,545	△ 20,946
財務活動CF	1,819	11,938	△ 19,518

※22年3月期上期のみ非継続事業(BPU)を含む実績

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業債権及びその他の債権の増加122億円等があったが、税引前四半期利益316億円、減価償却費及び償却費197億円、営業債務及びその他の債務の増加105億円等により、463億円の純キャッシュ増となった。

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産等の取得210億円等により、209億円の純キャッシュ減となった。

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入債務による調達386億円等があったが、短期借入金の減少248億円、借入債務の返済223億円等により、195億円の純キャッシュ減となった。

設備投資額、減価償却費

(単位：百万円)

	23年3月期	24年3月期			
	上期実績	上期実績	増減率(%)	前年差	通期計画
設備投資合計	32,770	20,219	△ 38.3	△ 12,551	70,100
加工事業本部	3,479	3,692	6.1	213	11,600
食肉事業本部	7,607	7,144	△ 6.1	△ 463	29,100
海外事業本部	1,646	3,042	84.8	1,396	10,400
ボールパーク・その他	14,254	567	△ 96.0	△ 13,687	800
消去調整他	5,784	5,774	△ 0.2	△ 10	18,200
減価償却費	18,818	19,658	4.5	840	40,700

事業利益算出方法

(単位：百万円)

	2023年3月期実績			2024年3月期計画		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	通期計画
① 営業利益	11,861	△ 909	10,952	23,895	12,105	36,000
② 為替差損益	△ 5,973	△ 4,106	△ 10,079	△ 3,166	-	-
③ IFRSへの調整他	1,367	△ 8,359	△ 6,992	924	-	-
④ 非継続事業への調整	1,263	1,164	2,427	1,174	-	-
事業利益①-②-③-④	15,204	10,392	25,596	24,963	19,037	44,000

CONTENTS

01

2023年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期上期 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 11 セグメント情報 食肉事業本部
- 13 セグメント情報 海外事業本部
- 14 セグメント情報 ボールパーク・その他事業
- 15 上期 主なマーケティング活動

02

2024年3月期

計画

- 17 計画ハイライト
- 21 2024年3月期計画 加工事業本部
- 23 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 25 2024年3月期計画 海外事業本部

03

2024年3月期

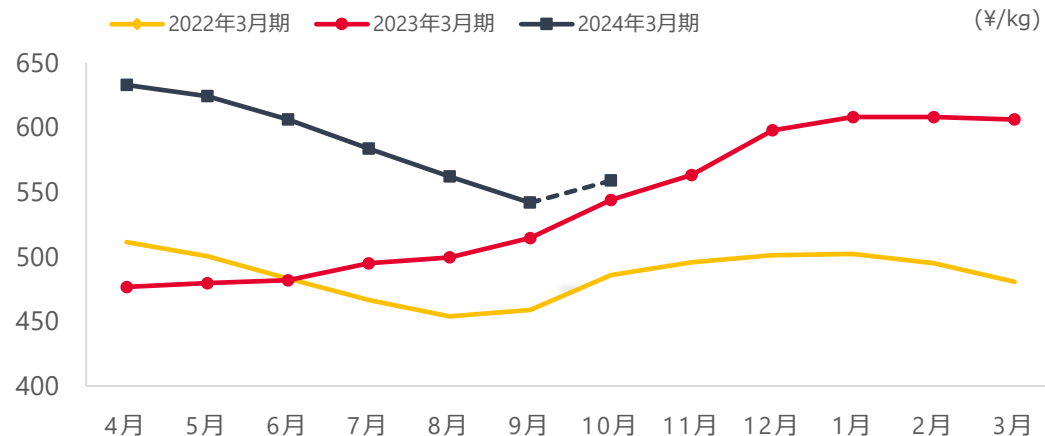
主な財務データ／参考資料

- 27 2023年3月期連結業績概要及び
2024年3月期計画
- 28 2023年3月期品種別売上高実績及び
2024年3月期計画
- 29 連結貸借対照表
- 30 連結キャッシュ・フロー計算書及び
設備投資額、減価償却費等
- 32 外部環境／市況



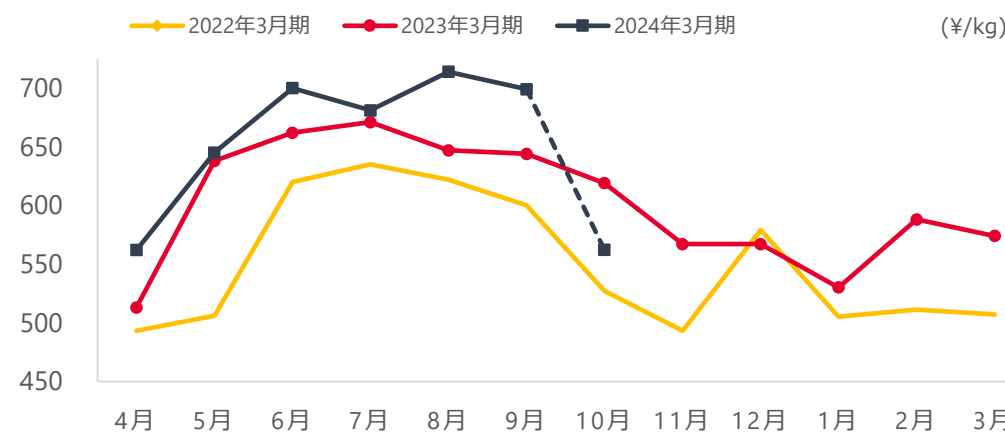
国産鶏肉相場

出典：鶏肉加重平均※食品産業新聞社『畜産日報』掲載分から単純平均単価



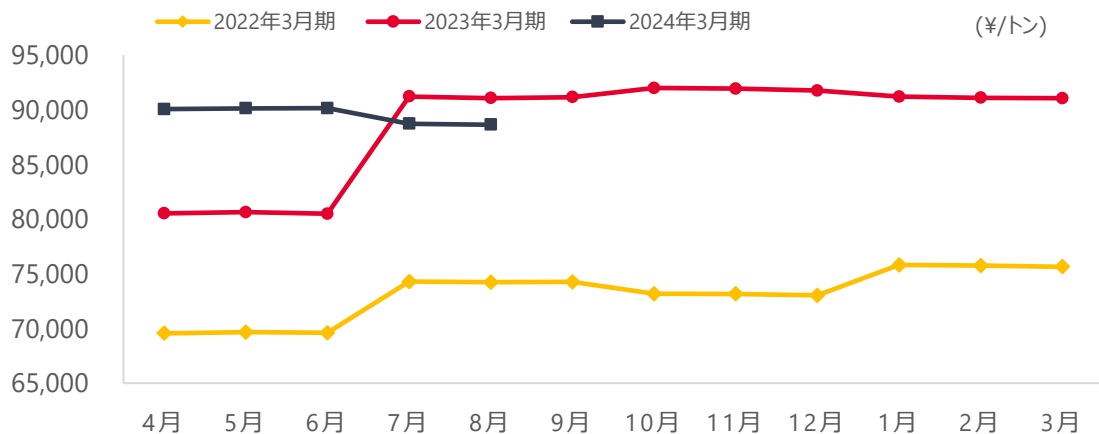
国産豚肉枝肉卸売価格

出典：上物 東京食肉市場平均価格



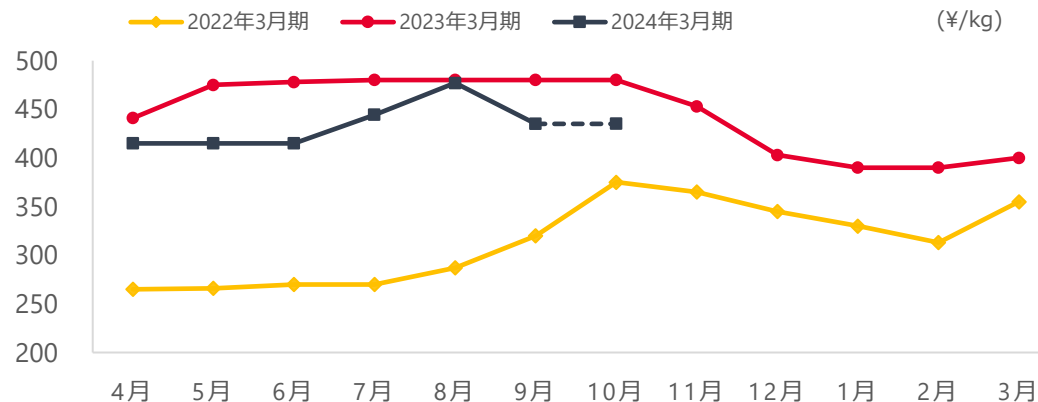
配合飼料価格

出典：ALIC

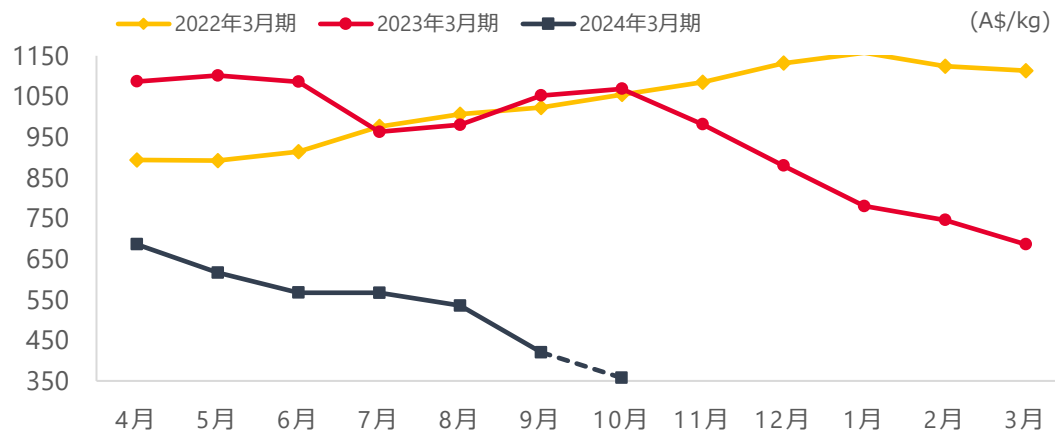


ブラジル産鶏もも肉 日本国内価格

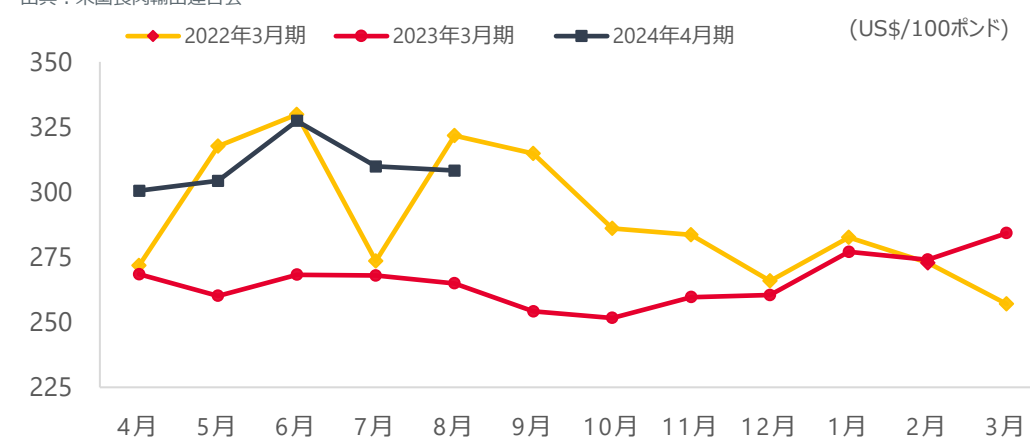
出典：ALIC(農林水産省「食鳥市況情報」)、食品産業新聞社畜産日報掲載分から単純平均単価



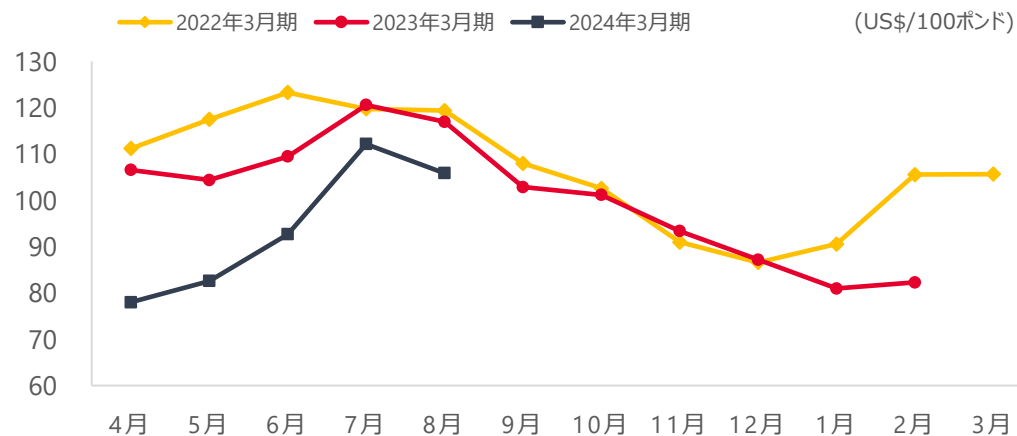
豪州産若齢牛価格(生産者販売価格) 出典：MLA



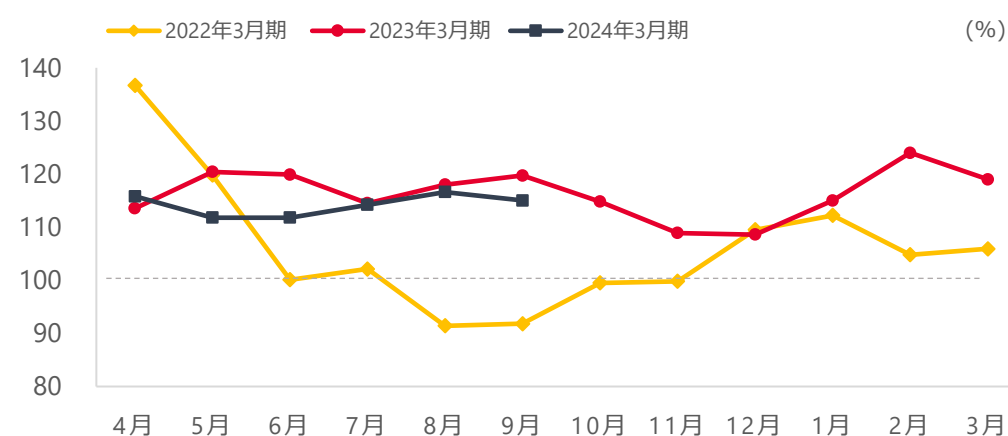
米国産牛肉カットアウトバリュー(卸売指標価格) 現地価格 出典：米国食肉輸出連合会



米国産豚肉カットアウトバリュー(枝肉ベース) 現地価格 出典：ALIC



外食売上高前年同月比 出典：一般社団法人日本フードサービス協会



お問合せ先

〒141-6013 東京都品川区大崎2-1-1

Think Park Tower

日本ハム株式会社 広報IR部

電話：03-4555-8024

メールアドレス：nhfoods.ir@nipponham.co.jp

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願いいたします。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。